

航空機燃料タンク投棄に伴う水質調査結果

平成30年2月20日に発生しました、米軍三沢基地所属F-16戦闘機による小川原湖への燃料タンク投棄の事案が発生しました。
 高瀬川河川事務所では、小川原湖の水質調査により監視をしております。
 結果は以下のとおりです。

【用語】

- n-ヘキサン抽出物質・・・水中に含まれる油分(鉱物性)の量
- ベンゼン・・・揮発性の液体。水に溶けにくく有毒。化学薬品の基礎物質となり、燃料などにも用いられる。
- pH・・・水質の酸性やアルカリ性を示す指標。pHが急激変化した時は、酸、アルカリ等の有害物質の混入などの異常があったことが推定される。
- COD・・・海水や河川の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す数値で、水中の有機物等汚染源となる物質を通常、過マンガン酸カリウム等の酸化剤で酸化するとき消費される酸素量をmg/Lで表したものの。
- SS・・・水中に浮遊している微細な固形物の量をいう。この値が大きいほど水は汚れており、水中の酸素を消費、魚類のえらに付着してへい死させる。
- DO・・・水中に溶解込んでいる酸素の量をいう。有機物などで汚濁している水では、水中の微生物が有機物を酸化分解し、酸素を消費するため、DOの値は低くなる。



